加美町

はやかぜ　いせき
早風 遺跡

平成 18 年度発掘調査　　説明会資料

発掘調査のようす

日時:平成 18 年6月3日(土) 午前 10 時 30 分～

宮 城 県 教 育 委 員 会

《調査要項》

〇遺 跡 名　早風（はやかぜ）遺跡(登録番号：3006　遺跡記号：ＦＯ)

〇所 在 地　加美郡加美町鳥屋ヶ崎字山畑中、深沢平

〇調査主体　宮城県教育委員会

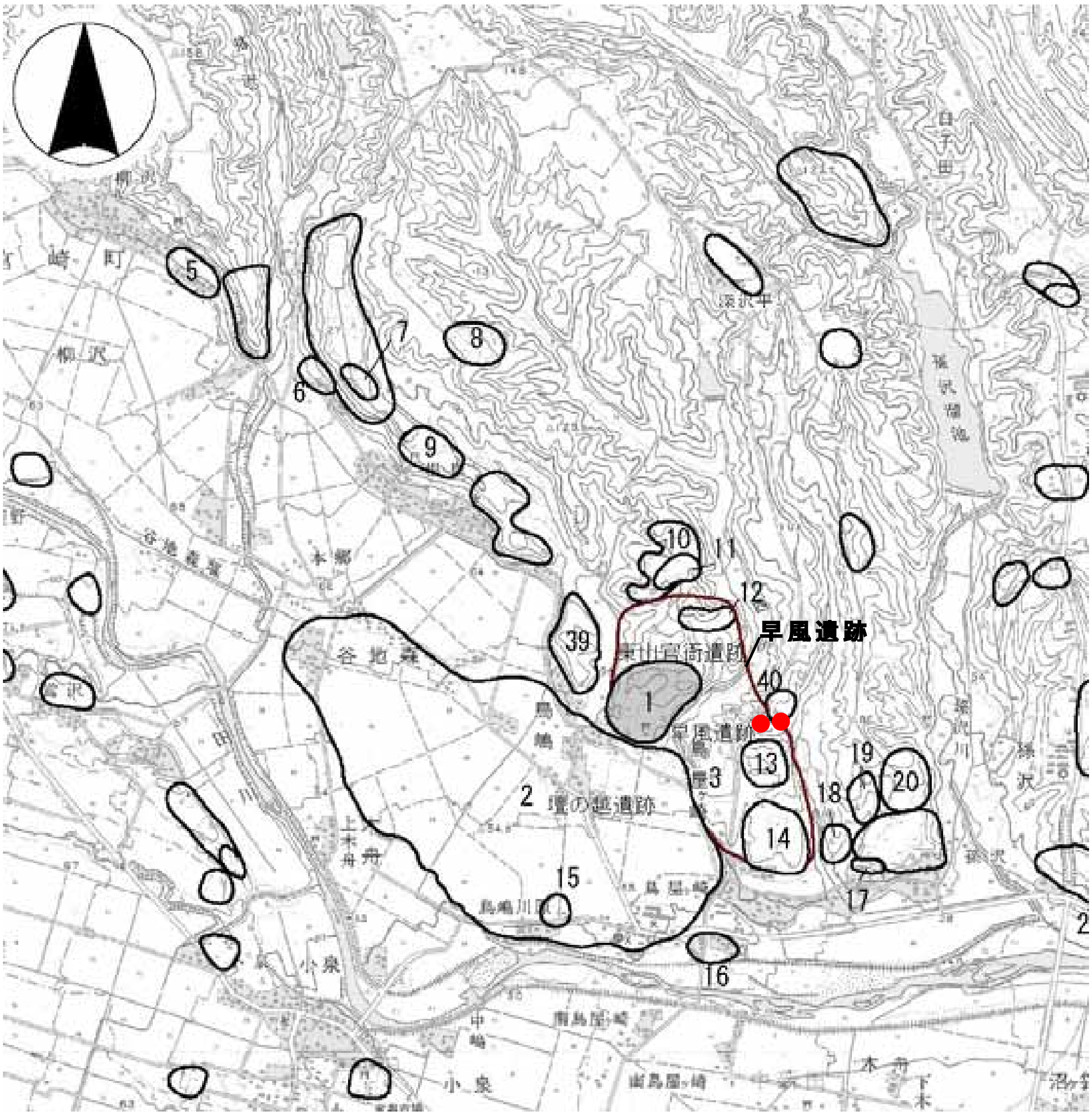
〇調査担当　宮城県教育庁文化財保護課

〇調査理由　重要遺跡確認調査

〇調査期間　平成 18 年 5 月 15 日～6 月 13 日

〇調査面積　63 ㎡

〇調査協力　加美町教育委員会　加美町農村環境改善センター　板垣 栄悦
板垣 博　板垣文雄　伊藤多利衛　鈴木 勝　ほか　(敬称略)



第１図　調査地点(●)と周辺の遺跡

1.東山官衙遺跡・早風遺跡について

現在、調査を行っている地点の西側の丘陵上には、「**東山官衙遺跡**」という、奈良・平安時代の遺跡があります(第１図)。この遺跡は、当時の陸奥国賀美郡を治めていた役所跡と推定されています。昭和61年から平成８年まで、宮城県多賀城跡調査研究所や旧宮崎町教育委員会が継続的に発掘調査を行い、「政庁」や「倉庫院」、これらを区画する築地塀跡などを発見しています。重要な遺跡であることがわかったことから、平成11年には**国史跡**に指定されています。

早風遺跡は、この東山官衙遺跡を取り巻くように北～東側の丘陵上に広がっています。昨年度の調査で、東山官衙遺跡の外側を取り囲む土塁や堀などの大規模な防御施設が確認されています(第１図・第２図)。

一方、南側の水田地帯には、「**壇の越遺跡**」という広大な遺跡が広がっています(第１図)。この遺跡は「ほ場整備」(水田整備)事業に伴って平成８年から毎年発掘調査が行われ(現在も調査中)、奈良･平安時代に計画的につくられた「古代の街」であることがわかってきました。約１町（109m）間隔に道路網が整備されており、その区画内では当時の有力者(役人)の屋敷跡なども発見されています。

2.発掘調査の目的

東山官衙遺跡周辺に広がる早風遺跡では、以前から“**土塁状の高まり**”や“**堀状のくぼみ**”が残っていることが知られていました。これらの性格や所属時期などを明らかにするため、宮城県教育庁文化財保護課では、昨年、３地点(第２図のｂ・ｇ・ｈ地点)において発掘調査を実施しました。その結果、ｂ・ｈ地点のものは、東山官衙遺跡(古代の役所)を防御するために造られた大規模な“**土塁と堀**”であることが分かりました。

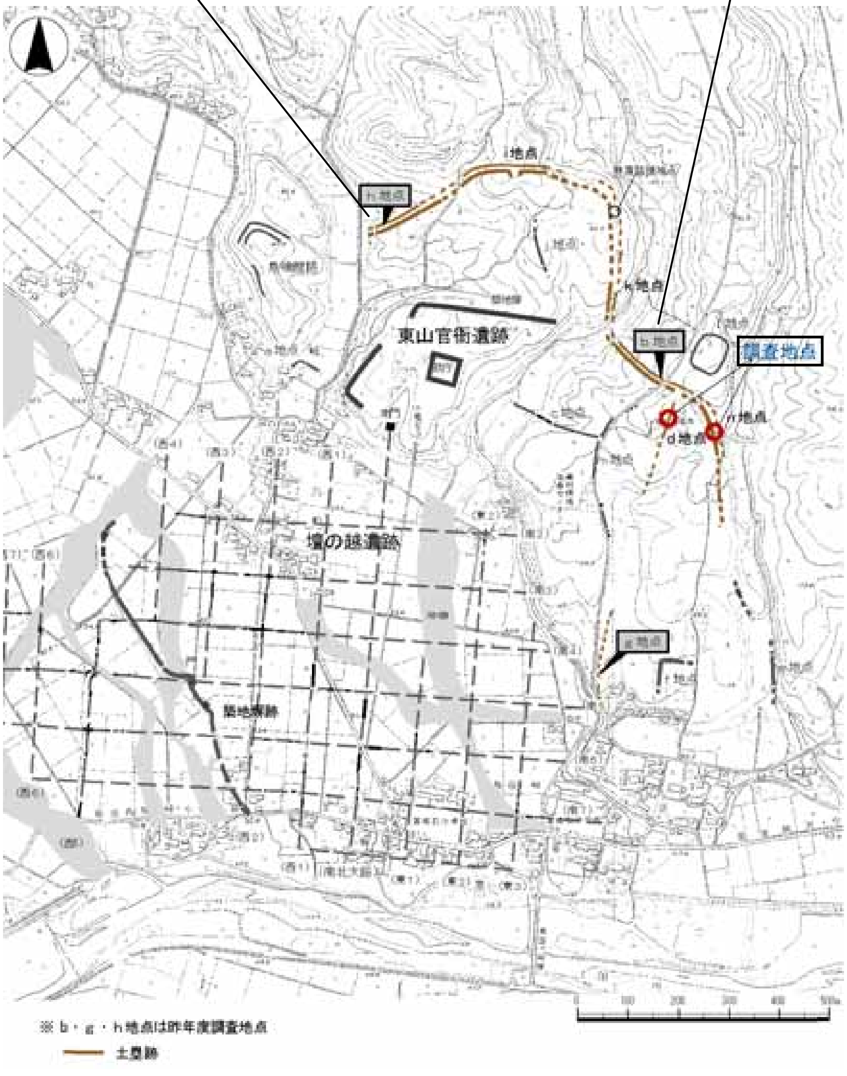
今年はより東側地点の調査を行い、こうした土塁や堀がさらに東へどのようにのびているのか、また、その規模や造り方などを調べることにしました。

3.今年の発掘調査

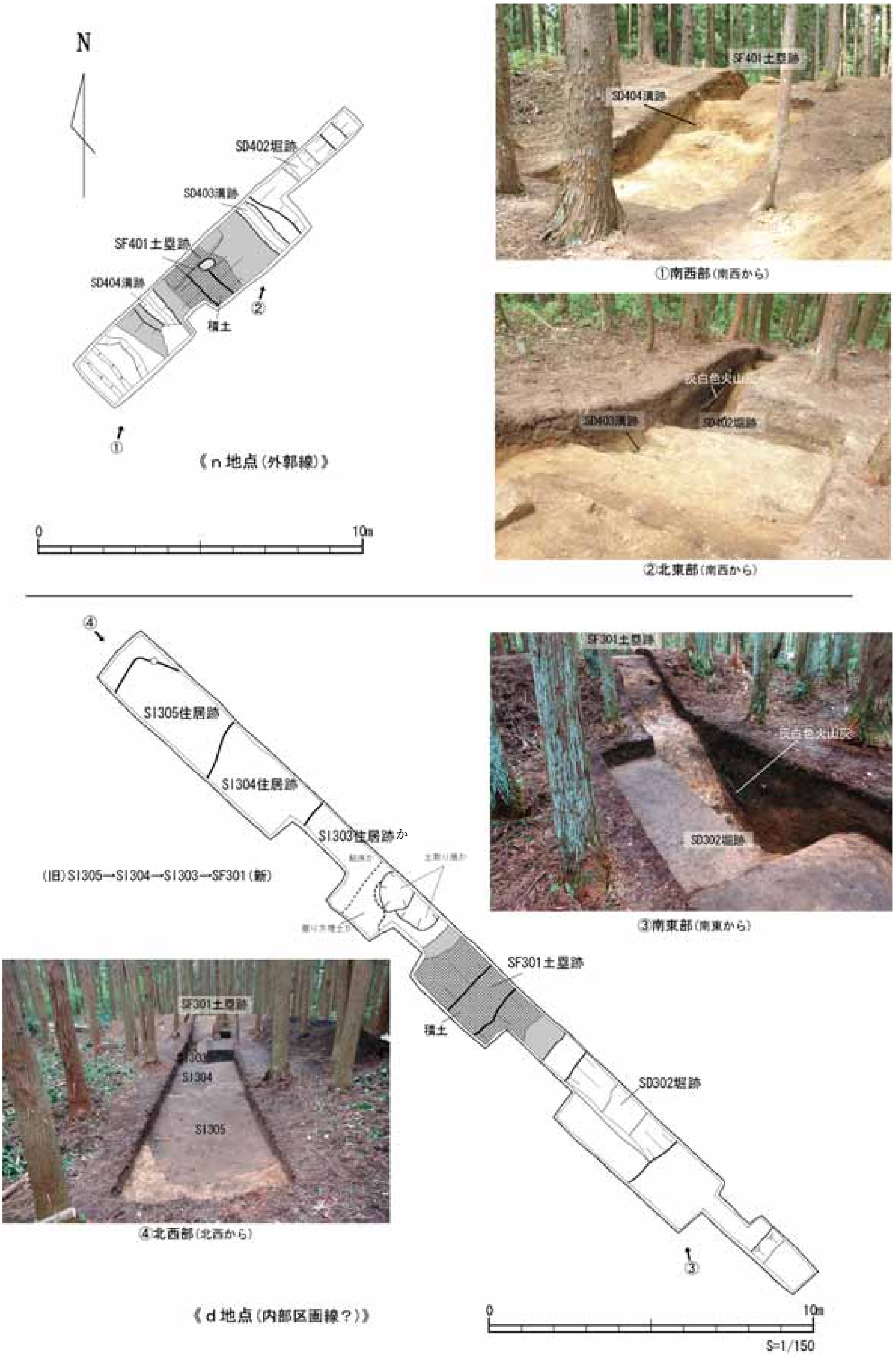
今回は、東側の丘陵上にあるｎ地点(外郭線)とｄ地点(内部区画線)(第２図)の２ヶ所で調査を行っています。

h 地点(昨年の調査)

b 地点(昨年の調査)



第２図　今年の調査地点(○：ｄ・ｎ地点)



第３図　遺構図および遺構写真

《ｎ地点》(外郭線)

現在、地表面で土塁状の高まりが確認できる最も東端部にあたります。この地点では、丘陵の縁辺部に１ｍほどの高さの帯状の高まりがみられます。

調査の結果、ここでは１条の土塁跡(SF401：高さ 1.5m)と堀跡(SD402：幅 2.7m･深さ 1.5m)が確認されました(**第３図上**)。堀は急斜面側に造られており、土塁頂部と堀底面との比高差は３ｍほどあります。

昨年調査したｈ地点・ｂ地点からこのｎ地点までを結ぶと総長 1.2ｋｍほどになります(**第２図**)。土塁と堀は、このｎ地点よりまだ南へ続きそうですが、ここから先は現在の地表面では明瞭には確認できなくなります。

《ｄ地点》(内部区画線)

愛宕地蔵尊のすぐ東側にも土塁状の高まりが南北方向に 50mほど延びています。

調査の結果、この地点でも１条の土塁跡(SF301：高さ 1.5m)と堀跡(SD302：幅 4.0m･深さ 1.7m)が確認されました。また、竪穴住居跡(SI303？・SI304・SI305)も発見されました(**第３図下**)。土塁頂部と堀底面との比高差は 3.2mほどあります。竪穴住居跡は８世紀後半頃の時期と推定されますが、土塁と堀はこれらよりも後の時期に造られているようです。

なお、この地点の土塁と堀跡は、ずっと南側にあるｇ地点(昨年調査)とつながるものと考えられます(**第２図**)。

※　昨年と今年の調査で、東山官衙(かんが)遺跡周辺にある土塁・堀跡のようすがだいぶ明らかになってきました。このような土塁や堀は、東山官衙遺跡(古代賀美郡の役所)を防御するために造られたものと考えられますが、当時の中央政府が東北地方の支配を進めていく上で、ある時期、その拠点となる役所の周囲にはこうした大規模な防御施設(土塁・堀)を巡らす場合もあったようです。

4.さいごに

鳥屋ヶ崎や鳥嶋地区周辺には、東山官衙遺跡・早風遺跡・壇の越遺跡など貴重な遺跡が多く残されています。こうした遺跡は、地域にとってかけがえのない大事な歴史的遺産(文化財)です。地元の皆さんの手で大切に守り、後世まで永く伝えていってほしいと思います。